

古布作品展【R6.7~R6.8】

回覧

郷土資料館 特設展示のご案内



古布作品展【7月~8月】

出展者：薮下 くに子さん ・ 小島 光子さん

郷土資料館がリニューアルオープンして3か月過ぎ、多くの方に来館いただいています。今回、特設展示第2弾として「古布作品展」を開催します。

明治から大正時代の着物や布団生地を使って作られたタペストリーやテーブルセンターなどの日用品を展示します。時間をかけ、配色を考えながら一針一針丁寧に仕上げたものや、布を裂いて編んだ作品もあります。日本古来の優しい色合い、模様をお楽しみください。

古い布集めにはまり込んで

木綿が庶民の衣服、布団などに用いられるようになったのは、歴史的にそんなに古くはありません。綿を作り、糸にし機織り機で織り、染色してきた布です。着物にしろ、布団にしろ何度も何度も経いで大切に使用されていました。

我が家の長持ちの中にもそれらしき布団が保存されており、筆箱の中には、祖父母・父母の衣類もありました。この作品に使用されている古い布は筆箱に保存されていたものや、友達からいただいたもの、そして岐阜や名古屋で開かれている骨董市にも出かけて集めたものです。



【同時開催】戦争を考える

太平洋戦争が終わってまもなく80年ですが、今も世界に戦争はなくなっていません。戦争体験者の思いや苦しみを自分事として、今一度考えてみる機会になればと思います。

……郷土資料館の利用案内……

開館日時： 毎週木曜日 10:00~15:00

場 所： 小学校体育館1階北側（坂祝町取組）

問い合わせ先： 坂祝町中央公民館 社会教育係 TEL: 66-2409

※8月15日(木)は休館です。



坂祝町民の二人が作られた古布を使った大作に、来館者はみんな感動の声を上げました。郡上や飛騨からも多くの方に見に来ていただく機会になりました。